

# きぼうへのかけはし

基本理念 希望のある医療

## ごあいさつ

病院事業管理者 病院長 大野徹

明けましておめでとうございます。

寒さの厳しい年末年始でしたが、皆様はいかがお過ごしでしたか。

無事に一年間を過ごせたことに感謝するとともに、これからの一年間を思い改めて責任の重さを感じています。昨年は神戸大学出身の山中伸弥教授がiPS細胞(人工多能性幹細胞)の作製でノーベル賞を受賞され、私達にとっては大変うれしく誇らしいことでした。今後、治療薬の開発や再生医療による機能回復に応用されることが大いに期待されます。

経営危機と言われたとき高砂市の病院事業管理者に就任して5年目になりましたが、職員の知恵と力を結集して何とか危機を乗り越えました。それには近隣病院の状況や、診療報酬の改定などの外部環境も大きく作用しましたが、内部での地道な努力が大きかったと思います。職種間の垣根を取りはらったコミュニケーション能力の向上、専門性の追求やチーム医療の充実など医療の質の向上とともに、経費の削減と診療体制の充実による収益増に取り組んだ成果だと思えます。

## 1. 医療現場の状況

医師不足と看護師不足の状況は今も変わらず、当院を含め播磨地域の病院ではどこも困っています。医師は相変わらず都会に集中し、人口10万人当たりの医師数を都道府県別で比較しますと東京都は303人と全国平均の230人(※)より多く、最も少ない埼玉県の148人の倍以上です。兵庫県でも神戸圏域では290人ですが、東播磨圏域では168人と全国平均を下回っています。当院の常勤医師数を見ると平成16年からほとんど変化はありませんが、医療の高度・専門分化が進み、大学病院の医師数はその間に約1.7倍の723人になっています。

(※) OECD加盟国平均は人口10万人当たり310人で、日本は対象34か国中下から6番目

## 2. これからの高砂市民病院

高齢化率が23%を超えた社会で、私たちは地域密着型病院としてどうあるべきかを考え、急性期から慢性期までを幅広く診る機能が求められていると判断しました。自院の特徴を生かしながら地域との連携を深めるために、今年7月に緩和ケア病棟18床の新規開設と血液浄化センター拡張による外来透析病床の20床増床を予定しています。

死亡原因第一位の“悪性新生物(ガン)”で亡くなる方が年間35万人を超え、2人に1人はガンにかかり、3人に1人はガンで亡くなる時代になりました。ガン医療における“緩和ケア”とは、ガンの進行に伴う体や精神的な症状があり、手術や抗がん剤治療などガンを治すことを目標にした治療が困難となった方などを主な対象として、ガンに伴う体と心の苦痛を和らげ、その人らしい生活を最期まで送ることができるよう支援する考え方です。

緩和ケアに関しては今後も講演会などを開いて広報していく予定です。



糖尿病患者とその予備軍は2,210万人といわれ、国民の5人に1人は糖尿病に罹患していることとなります。糖尿病専門医が5人もいる当院では糖尿病の早期発見に努め、栄養指導ときめ細かな治療に力を入れて進行を抑える努力をしています。糖尿病合併症(※)により血液透析が必要となった場合でも安心して治療が受けられるよう、播磨地域における拠点病院としての機能を充実させます。

つきましては病棟の工事中は皆さまにご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご容赦お願いします。

(※)糖尿病性腎症は新規透析導入の原因の第一位で、年間16,000人以上が透析を始める原因となっています

### 3. 市民の皆さまへ ～地域医療を守るのは一人ひとりの心がけ～

地域の第一線の病院に求められているものは特殊な病気を診断・治療できる機能ではなく、総合医的な知識を持った医師が、ごく一般的な身近な病気の治療が出来ることだと思います。地域に密着した医療を提供し、市民の健康を守り、安心して暮らしていただけるように職員一同努力いたします。

皆さまと共に地域医療を守りましょう。

## お知らせ

### 1. 医師の着任について

1月1日より **外科** 若原鉄平(わかばら てっぺい) 医師が着任します。

※医師の異動などに伴い外来診療担当が変更となっております。受診の際には、必ずご確認ください。

### 2. 今月の「ホッとひと息寄り道講座」

今月の講座を正面玄関ホール公衆電話前で次のとおり開催いたします。お気軽にご参加ください。

テーマ **“レーザーを使ったシミやホクロの治療”**

日時 1月15日(火)・1月23日(水)10:00～

講演者 形成外科・小熊孝医師

※過去の講座内容につきましては、当院ホームページでご覧いただけます

[トップページ](#)>[高砂市民病院の概要](#)>[広報・イベント](#)>[ホッとひと息寄り道講座](#)

### 3. 糖尿病教室を開催します

当院では、医師をはじめとする医療スタッフが、糖尿病についての予防や治療方法などを分かりやすく説明する糖尿病教室を開催しています。糖尿病の治療を受けておられる方や、そのご家族、糖尿病に興味のある方などのご参加をお待ちしております。

内容 **“糖尿病と薬の話”** ～薬剤師によるお話～

日時 1月16日(水) 13:30～14:30

場所 2階 講義室

### ♪クリスマスコンサートを開催しました♪

12月21日(金)16時より玄関ホールにてクリスマスコンサートを開催いたしました。

多数の方々にご来場いただき、ありがとうございました。



「きぼうへのかけはし」に関するお問合せは、

地域医療連携室までお願いします。

連絡先 〒676-8585 兵庫県高砂市荒井町紙町33番1号

TEL 079-442-3981(内線5146)

FAX 079-443-1401

ホームページ <http://www.hospital-takasago.jp/>